

課長・係長研修 東北被災地・福島第一原発へ



福島第一原発一号機
(東京電力HPより)



原発近くの老人ホームは当時のまま(左)



津波で流された松林の復興ボランティアを体験



11/5(水)-6(木)の日程で、課長・係長研修の一環として東北の被災地（宮城県・福島県）を12名で訪問しました。1日目は宮城県名取市閑上（ゆりあげ）を訪問。東日本大震災の際、この街には9mの津波が襲来、住民5000名の内、753名が亡くなった地を訪問しました。続いて仙台空港横の松林にて、津波で流された松林を復興するために活動する田中秀穂さんとともに、松に絡むツルを取る作業をしました。

翌6日はまず東北工場を訪問。遠藤さん・柳沼さんの現場を見学しました。その後、福島第一原発へ。3.11から14年経た現在も、廃炉に向けて約4,000名の方が働かれている様子を見学しました。別世界と思っていた被災地での研修を通して、「もし静岡だったら」と自分ごとと考えた貴重な時間となりました。



名取市閑上（ゆりあげ）訪問。震災当時、津波は後ろの松の木の半分まで来た



東北工場へ訪問（福島県郡山市）